とかち新聞
主筆 松山明
(発行所) 北海道足寄町 とかち新聞社 電話5－2551番
毎旬5の日発行 1ヵ月300円 1ヵ年前納の場合3,000円

特養老人ホーム
北海道足寄郡足寄町
6.28
株式会社
付

本別町議会

特養老人ホームは確定

本別町議会議員全員からの十五年以上勤続の表彰状と記念品を方川議長からおくられ、全員を一日として、午前十時に招集（欠席は松下一郎、島居敏太郎、佐久間辰元の三議員）開会に先立ち高末常、菅原文子の両議員に対して町村議会議員全員からの十五年以上勤続の表彰状と記念品を方川議長からおくられ、全員を一日として、午前十時に招集（欠席は松下一郎、島居敏太郎、佐久間辰元の三議員）開会に先立ち高末常、菅原文子の両議員に対して

道町村議会議員全員からの十五年以上勤続の表彰状と記念品を方川議長からおくられ、全員を一日として、午前十時に招集（欠席は松下一郎、島居敏太郎、佐久間辰元の三議員）開会に先立ち高末常、菅原文子の両議員に対して

本日契約締結の提案をすすめていたが、全体の残りグなどの関係で提案できなかったが確定している

四、社会福祉議会の関係で四月一日付で専任職員を採用してその給与を全額町でもち、本年度法人化をして活発な活動をする

などを報告して、一般質問にうつり天野晴樹、北村和郎、山口勝車の三氏が立ち、ついで議案に入り一般会計、特別会計の予算補正中押巻川筋松岡地先災害復旧工事を四千七百六十五万円で野田組と請負契約本別中学校増築工事を三千三百八十万円で多賀組と請負契約などを原案どおりに議決しましたが、一般会計の予算補正のなかでの主な支出はつぎのとおりです。

（単位万円）

▲敬員住宅二戸一、〇五八

体力増進センター

▲高校アパート敷地　六五一〇
▲隔離病舎解体
▲道名牛会館新設補助七〇〇
▲野帯一間　七〇〇
▲社会福祉協議会間三〇九
▲ビート増産対策　二四七
▲同　生産拡大一、〇三一
▲肥料料増産対策　四六六
▲乗更二丁目通改良二六〇
▲北四丁目仲通り改良舗装工事　一、四八〇
▲下美里別東一線路盤改良工事　一、四〇〇
▲北・西一条通り路盤改良工事　二、三〇〇
▲美里別川沿浸防改良工事　二、〇八〇
▲柏木町一号通り改良舗装工事　一、七五〇
▲同　その二　五五〇
▲錦町本通り改良舗装工事　二、〇〇〇
▲仙美里市街線興通り改良工事　一、五〇〇
▲見倉部落通り改良舗装工事　三〇〇
▲南一丁目仲通り改良舗装工事　七二〇
▲錦町二号通り側溝新設工事　八〇
▲南・西三条通り側　八〇
▲向陽町三号通り側五〇〇
▲本別公園整備　二三五
▲体力増進センター新築工事　四、五〇〇
▲同　固定備品　七二〇

体力増進センターは鉄骨鉄筋一部二階建で、面積は六一四、七六平方メ、立体走路、トランポリン、スキートレーナーなど十九品目が備えられます。

▲北斗南西線道路同　五七　渡辺組
▲南斗第十四号支線道路同　一四八　陸立興業
▲瀬別地区農業用施設同　一、四七五　渡辺組
▲農業センター物置施設　二二　佐藤建設工業
▲緑と太陽の広場同　一九　同
▲福祉センター増築工事　八九　高倉組
▲市場増築・排水処理　一二二　山田建設
▲下陸別連絡線道路改良　一、七五五　石橋建設
▲北和二地区農道整備事業　一、八四〇　木下組
▲中斗消防用火栓新設　三三　坂東工業店
▲導水管布設替工事　六二〇　同
▲新生町育成新植事業
五号　二七　川崎林業
六号　二九　佐々木組
七号　二七　大谷組
八号　二九　森林組合
▲同　植栽事業
一号　一〇　森林組合
二号　一〇　大谷組
三号　一〇　佐々木組
四号　一〇　川崎林業

補正予算を主体に

足寄町議会の第二回定例会は二十七日に招集されますが、現事者提出の主な議案は

一、四十六年いらい人権擁護委員をつとめている石本二郎氏の再推薦

二、公共施設建設等基金条例の制定

三、非常勤職員の公務災害補償条例の一部改正

四、国保税条例の一部改正

五、総合公園用地としして尾形静己、尾形富雄両氏の所有地四二、四九〇平方メを七千二百二十三万四千円で購入

六、各会計予算の補正

などですが、一般会計で

足寄町議会の第二回定例会は二十七日に招集されますが、現事者提出の主な議案は

一、四十六年いらい人権擁護委員をつとめている石本二郎氏の再推薦

二、公共施設建設等基金条例の制定

三、非常勤職員の公務災害補償条例の一部改正

四、国保税条例の一部改正

五、総合公園用地としして尾形静己、尾形富雄両氏の所有地四二、四九〇平方メを七千二百二十三万四千円で購入

六、各会計予算の補正

などですが、一般会計で

の主な支出はつぎのとおりです（単位万円）

▲住民集会所設置補助六カ所　二一六
▲同　有線電話補助　二四
▲社会福祉協議会補助三一
▲電話アンテナ補助　二〇
▲じん芥収集車　六二
▲地区防犯補助金　七五
▲農業振興費　二、四二三
▲飲雑用水施設（陸北、仲

新病棟礼装

きものと帯は

足寄町　T五－二一四八

久保呉服店

和、柏生、昭和四地区）　五、八八四
▲伏古丹農道整備　二八六
▲上クワン集会所新築　一、一〇四
▲同　備品　二〇一
▲東部地区農業改善事業補助　二、三三一
▲塩幌めぶ林道工事一七六
▲幾寅駅木園地用敷購入　三五〇
▲白ろう病舎防除定、頭芯整理入　七三
▲栄町、西区町道用地購入　五三六
▲総合公園用地購入　二、一二五
▲陸別町民体育大会補助金　三〇
▲陸別町民体育大会補助金　三〇

で、本年から明年にかけて

中学校統合校舎の設計へ

陸別町議会

陸別町議会の第二回定例会は十四、十五の両日にわたってひらき、竹内議長が病気欠席のため松舟副議長が議事をすすめました。

この議会に提出された議案は

一、町道陸別／瀬別線道路改良工事を三千二百九十三万円で石橋建設と請負契約

二、道々県格などにともない西トマム線町道の廃止

三、湧球振興計画に関連区農道整備、奥斗伏線、勲祢別区栄川上線の林道整備、栄町中央幹線改良舗装の追加

四、公営住宅建設用地として故藤功氏所有の畑地八、四六二平方メを九百七十五万一千三千円で購入

五、一般会計予算に五千二百五十一万六千三十五円の追加補正

などの五件で、いずれも原案どおりに議決しましたが補正予算の主な支出はつぎのとおりです（単位は万円）

▲自治会交付金　一七九
▲新町児童館屋外設備と建物車置場　四五六
▲高地使用新築　五二
▲ビート増産補助　一七〇
▲組合株増産補助　八六一
▲弥生地区土地改良総合整備事業補助　二三七
▲農業構造改善事業計画基本図作成委託　一六〇
▲除雪車購入増　五〇五
▲北和農道車乗降増二〇六
▲道路整備　四九〇
▲若葉教員住宅改修二一五
▲荒川支庁図書購入　二〇
▲陸別中学校統合校舎設計委託　一、四九〇
▲道民の船当相金　二八
いよいよ中学校全町一本化の統合校舎の設計にとりかかり、明年からの建設に備えることになりました。

つづいて北方領土の早期返還に関する決議を採択して、一般質問に入り、西野一郎、宮古秀、奥野竹男、林保治、渡辺平吉、池尻英治、北村和義、西村秀盛、矢舗正信の各氏が質問に立ちました。

開基60年記念式を

開会後、杉田町長から明年が陸別村開基六十年を迎えるのについて協議をもちかけた結果、町内各層の意見をきいたうえで、既存ま

などの五件で、いずれも原案どおりに議決しましたが補正予算の主な支出はつぎのとおりです（単位は万円）

▲自治会交付金　一七九
▲新町児童館屋外設備と建物車置場　四五六
▲高地使用新築　五二
▲ビート増産補助　一七〇
▲組合株増産補助　八六一
▲弥生地区土地改良総合整備事業補助　二三七
▲農業構造改善事業計画基本図作成委託　一六〇
▲除雪車購入増　五〇五
▲北和農道車乗降増二〇六
▲道路整備　四九〇
▲若葉教員住宅改修二一五
▲荒川支庁図書購入　二〇
▲陸別中学校統合校舎設計委託　一、四九〇
▲道民の船当相金　二八
いよいよ中学校全町一本化の統合校舎の設計にとりかかり、明年からの建設に備えることになりました。

つづいて北方領土の早期返還に関する決議を採択して、一般質問に入り、西野一郎、宮古秀、奥野竹男、林保治、渡辺平吉、池尻英治、北村和義、西村秀盛、矢舗正信の各氏が質問に立ちました。

開基60年記念式を

開会後、杉田町長から明年が陸別村開基六十年を迎えるのについて協議をもちかけた結果、町内各層の意見をきいたうえで、既存ま

でに実行委員会なり協議会なりを設けて記念式典や記念行事をすすめることになりました。

建設工事など発注

陸別町では四月から六月までに発注した土木工事や造林事業はつぎのとおりでした。（単位万円）

▲作東川筋堤防旧工事
一、〇九八　木下組
▲南斗第十四号支線道路同
二五八　陸栄建設
▲中陸別山線線道路同
二七〇　内藤組

議員定数問題で　初の公聴会

足寄町議会の議員定数特別委員会では二十五日午後一時から町役場会議室で町ではじめての公聴会をひらきました。

議会側から大滝議長、大久保幹用委員長、吉田、鳴海、阿部、大塚、多治見、高橋車両委員が出席（石田委員は欠席）公述人として定数削減に賛成の側から細川徳雄（中足寄）今村静子（軽部）田藤直門（緑町）工藤別作（大曽地）の四氏定数削減反対の側から小野寺良次（北）御厨秀治（下愛冠）伊東光（喜登牛）山口鹿蔵（上大曽地）の四氏が出席して、それぞれ十分以内の持ち時間で、反対、賛成の立場に意見を述べました。

賛成側の意見を要約すると

一、人口二万人近くから一万三千人台に落ち込んでいる

二、管内十九カ町村のうち十四カ町村が議員している

三、経費を節減できる

の最大の事業である西小学校の改築予算は、この会期中に追加提案となります。

議案審議に入る前に町長と教育委員長の行政報告、各常任委員会の報告につづいて一般質問に入り、多治見敏一、鳴海一郎、大塚正夫、菅原賢、松崎裕、高橋作夫、板谷源平、矢野覚一の各氏の質問が予定されているので、会期は三日間としています。

四、議員することによって部落議員でなくなる

反対側の意見を要約すると

一、人口一万人以上は二十六名と規定した自治法の精神を尊重すべきだ

二、人口はへっても自本一の面積で、奥地の声も反映すべきで、足寄町議はより多くの意見が必要である

三、議員報酬は交付税でみられており、議員すれば委員会活動に支障がある

四、議員すればへき地や貧乏人は出られなくなる

などで、これらの意見を参考にして、特別委員会としては九月の定例会までに結論をまとめる予定ですが せっかくのこの日の公聴会には傍聴者は四、五名という関心のなさで、約二時間で閉会しました。

議会全体の空気としては二名程度の議員が大勢のようですが、そんな中しわけ的にお茶をにごすようなやり方では、わざわざ公聴会をひらくほどのことはなかったともいえそうです。

ニュースを斬る

◆…参議院選のまつさかりとなっていますが、さわいでいるのは選挙関係者とマスコミばかりのようで、一般にはあまり気合いが入っていません。

◆…本別の各町村には各政党支部があり、町村議会に議員をおくり出しておきながら、その町村政策ももたないで、ふだんはなにも政党活動らしいこともしないでいて、選挙になるとわが党へ「お願いします」では、なんのための政党支部かといいたくなります。

◆…しかし、そうはいっても政党員は選挙めセールスマンではなく、投票のご用きまでもないので、選挙民にヘイコラすることはないのです。

参議院選と生活

◆…いまの政治に満足している人々は、この参議院選で与野党逆転から保革逆転への推戸際に立たされている保守体制をシッカリと守り抜くべきだし、そうでない人々は物価はあがるが賃金はそれに追いつかない勤労者で、管理賃材はあがるが農産物価格は押えられている農民や、勤労者や農民の生活が楽になるのでなければ困る中小業者など一国民の大半を占めるこうした人々が相変らず保守政党に一票を投ずるのでは、自分で自分の首を締めるようなものです。

◆…政治不信、政治に無関心といっても、国民の一票々々によって政治がおこなわれているのであって、生活の実感からいまの政治に満足しているのかどうかの一票であるべきです。

◆…政治不信、政治に無関心といっても、国民の一票々々によって政治がおこなわれているのであって、生活の実感からいまの政治に満足しているのかどうかの一票であるべきです。